

# 1月例会『国際市場で逢いましょう』（韓国映画）

## 特別例会「モリのいる場所」、上映会「あの日のオルガン」終了のお礼

### 2020年 あけまして おめでとうございます

今年も「良質な映画上映」をしていくため、みなさんと一緒に会員を増やしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

### 例会のお知らせ

■名称／第106回例会 『国際市場で逢いましょう』

■日時／2020年1月23日(木)

①PM1:50～、②PM4:10～、③PM6:30～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／国際市場で逢いましょう

■監督／ユン・ジェギョン

■脚本／パク・スジン

■出演／ファン・ジョンミン、キム・ユンジン、オ・ダルス、チョン・ジニョン、チャン・ヨンナム、ラ・ミラン、キム・スルギ、ユンホ

■解説／韓国で歴代2位となる観客動員数1410万人を記録した大ヒット作。前作の「TSUNAMI ツナミ」でも1132万人動員を記録したユン・ジェギョン監督が、釜山の国際市場を主舞台に、激動の時代を家族のために生きたひとりの男の生涯を描いたヒューマンドラマ。

朝鮮戦争で父と末の妹と離れ離れになり、母と残された2人の妹とともに避難民として釜山で育ったドクス。父親代わりとして一家を支えるため西ドイツへ出稼ぎにいき、ベトナム戦争出兵では生死のさかひに立たされるなど過酷な人生を過ごした。それでも家族への愛情と笑顔を絶やさず、時代の荒波を生き抜いていく。

■データ／2014年、韓国、2時間7分

■ジャンル／ドラマ(戦争・家族)



### 私の映画KAN

1月4日「男はつらいよ お帰り寅さん」を観てきました。どんな映画になるんだろうと思っていましたが、とても良かったです。

満男が、小説家で中学3年生の娘と暮らしている。次の作品作りで悩んでいる中、夢で初恋の人“イズミ”が出てきてモヤモヤしている。ある日、書店のサイン会で“イズミ”とばったり出会う……。草団子や「くるまや」は、今新しく「カフェ」になっており、“博”と“さくら”が住んでいる。「くるまや」に集まったみんなは、昔話に花を咲かせます。そんな時“寅さん”が出てきます。49作、特別編(1997年)から22年、50作「男はつらいよ」4Kデジタル修復で、“寅さん”“マドンナ”がみごとに帰ってきます。

みなさん、是非、観に行ってください！ (芳)

■題名／男はつらいよ お帰り寅さん

■監督／山田洋二

■出演／渥美清、倍賞千恵子、吉岡秀隆、後藤久美子、  
前田吟、池脇千鶴、夏木マリ、浅丘ルリ子、  
美保純、佐藤謙次郎、桜田ひより、北山雅康、  
カンニング竹山、濱田マリ、出川哲朗、松野太紀、  
林家たま平、立川志らく

■2019年 日本 116分

## 共催事業の報告

加古川シネマクラブでは、映画文化の発展に寄与するため、この地域での映画の上映に協力しています。12月14日(土)に加古川市民会館で共催事業として「あの日のオルガン」の上映会を開催しました。

参加人数 362人、チケット売上 412人でした。

みなさん、ご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

## 忘年会を開催しました

今年度の忘年会は、12月21日(日)に昨年度と同様、東加古川駅前のイタリア料理店「ピッツェリア アネッロ」で、加古川シネマクラブの会員・その家族、明石シネマクラブと兵庫県映画センターの有志を含め計13人の参加で開催しました。近況や一年を振り返ったりしながら楽しい時を過ごしました。

## 前回例会の報告

11月14日の例会は、一般の方も参加できる特別例会として、『モリのある場所』を鑑賞しました。伝説の画家・熊谷守一(モリ)とその妻・秀子の晩年の暮らしぶりを山崎努と樹木希林の共演で描いたもので、鑑賞した人からも好評でした。

参加会員 116人、明石シネマクラブからの参加者 9人、一般 258人で合計 383人の参加者でした。

## 明石シネマクラブ例会情報

■名称／『ワンダー君は太陽』

(2017年、アメリカ、113分)

「僕は10歳、”普通の子”じゃない」  
オギーと”みんな”のワンダーな心の旅

■解説／全世界で800万部以上を売り上げたR・J・パラシオのベストセラー小説「ワンダー」を映画化



したヒューマンドラマ。

ごく普通の10歳の少年オギーは、生まれつきの障がいにより、人とは違う顔をもっていた。幼い頃からずっと母イザベルと自宅学習をしてきた彼は、小学5年生になって初めて学校へ通うことになる。はじめのうちは同級生たちからじろじろ眺められたり避けられたりするオギーだったが、オギーの行動によって同級生たちは少しずつ変わっていく。

■監督・脚本／スティーブン・チョボウスキー

■出演／ジェイコブ・トレンブレイ、ジュリア・ロバーツ、オーウェン・ウィルソン ほか

■日時／2月12日(水) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数 145人(11月14日現在)